

議題（3）オレンジゆずるバス再編検討分科会について

■オレンジゆずるバス再編検討分科会について

●第6回オレンジゆずるバス再編検討分科会

◆開催概要

- ・日 時：令和6年12月12日（木）13時～16時
- ・場 所：箕面市立船場生涯学習センター多目的室3AB
- ・出席者：32名（6人程度/班の5班に分かれて議論）
- ・内 容：＜説明＞箕面市の公共交通・オレンジゆずるバスの現状について
＜ワークショップ＞オレンジゆずるバスの便利な点・不便な点

◆検討テーマ及び結果

・【テーマ】オレンジゆずるバスの便利な点・不便な点

→各班の議論から抽出した要素は以下のとおり。（未定稿）

ルート

- 再編により、定時性が改善されたルートとなった。
- 阪急バス車両で走行できない地域も運行しており、生活に密接している。
- ×青ルートが箕面萱野駅に接続していない。
- ×彩都・止々呂美へのルートがない。
- ×一方向のルートは乗り間違いなどの懸念もあり、わかりづらい。

便数

- パターンダイヤ（1時間に1本）は利用者にとってわかりやすい。
- ×複数ルートが停車するバス停について、1時間の中でダイヤが集結している。
- ×ピークの時間は座れないため、増便すべき。
- ×運行時間帯が短いため、病院等の診療が長引いた場合は利用できない。

運賃

- 運賃が安い
- 均一運賃がわかりやすい。
- ×高齢者運賃については見直すべき。
（高齢者運賃が安すぎる、高齢者割引を回数券のみに限定など）
- ×小学生を無料にし、親・子世代の利用を促進すべき。
- ×大人運賃が高い（阪急バスと同額）

情報提供

- ×アプリなどによるルート案内やのりば検索に対応し、広報すべき。
- ×バスの行き先表示（東部中行、西部北行）がわかりづらい。
- ×イベントなどと連携して、利用促進をすべき。

●今後の分科会スケジュール

- ・参考資料⑤のとおり